

8-3 地形及び地質

8-3-1 重要な地形及び地質

(1) 調査

1) 調査の基本的な手法

調査項目	調査の手法及び調査地域等
・地形及び地質の概況、重要な地形及び地質の分布、状態及び特性	文献調査：地形及び地質関連の文献、資料を収集し整理する。また、文献調査を補完するために、必要に応じて現地踏査を行う。 調査地域：対象事業実施区域及びその周囲の内、都市トンネル、山岳トンネル、非常口（都市部、山岳部）、地下駅、保守基地、変電施設を対象に工事施工ヤード及び工所用道路の設置又は鉄道施設（都市トンネル、山岳トンネル、非常口（都市部、山岳部）、地下駅、変電施設、保守基地）に係る重要な地形及び地質への影響が生じるおそれがあると認められる地域とする。

2) 調査結果

ア. 国立公園、国定公園、県立自然公園等の分布

対象事業実施区域及びその周囲の自然公園の指定状況を表 8-3-1-1 に示す。

表 8-3-1-1 対象事業実施区域及びその周囲の自然公園の指定状況

公園別	名称	指定年月日	公園面積 (ha)
国定公園	飛騨木曾川	昭和 39 年 3 月 3 日	3,661
	愛知高原	昭和 45 年 12 月 28 日	21,740

資料：「平成 24 年度 環境白書」（平成 25 年 6 月現在、愛知県ホームページ）

イ. 地形及び地質の概況

対象事業実施区域及びその周囲における地形の概況は、「本編 第 4 章 図 4-2-1-15」に示す。

対象事業実施区域及びその周囲には、概ね北東側から南西側に向かって、山地、丘陵地、台地、低地が見られる。岐阜県境付近の対象事業実施区域の東部には猿投山地、西部には犬山山地が見られる。犬山山地に近接して愛岐丘陵、瀬戸・小牧丘陵がある。愛岐丘陵は、岐阜県東濃地方から連なる丘陵地の西端を占め、起伏量は比較的大きい丘陵地である。瀬戸・小牧丘陵は、小河川によって分断されている低起伏の丘陵地である。これら丘陵地の南西に向かって広く濃尾平野が覆っている。濃尾平野は、丘陵地の近くには春日井・小牧台地が、その南部の名古屋市街地には名古屋東部台地が分布している。対象事業実施区域は、これら山地、丘陵地、台地の間を通り、北東部では内津川付近の扇状地性低地、南西部では庄内川、矢田川の三角州性低地、名古屋市街地には広く埋立地・盛土がひろがっている。

対象事業実施区域及びその周囲における地質の概況を、「本編 第 4 章 図 4-2-1-16」に示す。

対象事業実施区域及びその周囲の表層地質は、犬山市、小牧市及び春日井市の山地や丘陵地において古生層や新第三紀層の礫岩が分布している。春日井市から名古屋市にかけて見られる台地部には大部分が礫又は砂礫からなる未固結堆積物が分布している。内津川、庄内川、矢田川などの河川の周辺には広く礫・砂・泥の不規則な互層からなる未固結堆積物が分布している。対象事業実施区域の南西部に位置する名古屋市街地の低地には大部分が砂・砂礫からなる沖積層が広く分布している。

対象事業実施区域及びその周囲に分布する主要な活断層は、「本編 第4章 図4-2-1-15」に示すとおりであり、対象事業実施区域内には存在していない。

ウ. 重要な地形及び地質の分布、状態及び特性

重要な地形及び地質は、表 8-3-1-2 に示す文献及び法令を基に選定を行った。対象事業実施区域及びその周囲には、重要な地形及び地質は、存在していない。

表 8-3-1-2 重要な地形、地質及び自然現象に関する文献及び法令名

文 献 及 び 法 令 名		区 分
①	文化財保護法 (昭和 25 年 5 月 30 日法律第 214 号)	地質鉱物 (特異な自然現象も含む) 名勝天然記念物 特別名勝記念物
②	愛知県文化財保護条例 (昭和 30 年 4 月 1 日愛知県条例第 6 号) 名古屋市文化財保護条例 (昭和 47 年 3 月 23 日名古屋市条例第 4 号)	史跡名勝天然記念物 (地形、地質の関わるもの)
③	第 1 回環境保全基礎調査報告書 (昭和 51 年 環境庁)	すぐれた地形、地質及び自然現象
④	第 3 回環境保全基礎調査報告書 (平成元年 環境庁)	地形、地質及び自然現象に係る自然景観資源
⑤	日本の地形レッドデータブック第 1 集 新装版—危機にある地形— (平成 12 年 12 月 小泉武栄、青木賢人)	レッドデータブック掲載地形
⑥	日本の地形レッドデータブック第 2 集 —保存すべき地形— (平成 14 年 3 月 小泉武栄、青木賢人)	レッドデータブック掲載地形

(2) 予測及び評価

1) 工事施工ヤード及び工事用道路の設置

ア. 予測

ア) 予測項目等

予測項目	予測の手法及び予測地域等
・工事施工ヤードの設置に係る重要な地形及び地質への影響	予測手法：事業の実施に伴う重要な地形及び地質への影響を明らかにすることにより定性的に予測する。 予測地域：工事施工ヤード及び工事用道路の設置に係る重要な地形及び地質への影響が生じるおそれがあると認められる地域として、調査地域と同様とする。 予測時期：工事期間中とする。

イ) 予測結果

調査結果より対象事業実施区域及びその周囲に重要な地形及び地質はなく、工事施工ヤードの設置に伴う重要な地形及び地質への影響はないものと予測する。

イ. 評価

ア) 評価の手法

評価手法	・回避又は低減に係る評価 事業の実施による影響が、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減がなされているか否かについて見解を明らかにすることにより評価を行う。
------	---

イ) 評価結果

a) 回避又は低減に係る評価

工事施工ヤード及び工事用道路の設置に伴う、重要な地形及び地質への影響はないものと評価する。

2) 鉄道施設（トンネル、駅、変電施設、保守基地）の存在

ア. 予測

7) 予測項目等

予測項目	予測の手法及び予測地域等
・ 鉄道施設の存在に係る重要な地形及び地質への影響	文献調査：地形及び地質関連の文献、資料を収集し、整理する。また、文献調査を補完するために、必要に応じて現地踏査を行う。 調査地域：対象事業実施区域及びその周囲のうち、都市トンネル、山岳トンネル、非常口（都市部、山岳部）、地下駅、保守基地、変電施設を対象に鉄道施設（都市トンネル、山岳トンネル、非常口（都市部、山岳部）、地下駅、変電施設、保守基地）に係る重要な地形及び地質への影響が生じるおそれがあると認められる地域とする。

1) 予測結果

調査結果より対象事業実施区域及びその周囲に重要な地形及び地質はなく、鉄道施設（都市トンネル、山岳トンネル、非常口（都市部、山岳部）、地下駅、変電施設、保守基地）の存在に伴う重要な地形及び地質への影響はないものと予測する。

イ. 評価

7) 評価の手法

評価手法	・ 回避又は低減に係る評価 事業の実施による影響が、事業者により実行可能な範囲内で回避又は低減がなされているか否かについて見解を明らかにすることにより評価を行う。
------	--

1) 評価結果

a) 回避又は低減に係る評価

鉄道施設（都市トンネル、山岳トンネル、非常口（都市部、山岳部）、地下駅、変電施設、保守基地）の存在に伴う、重要な地形及び地質への影響はないものと評価する。